

抗菌薬使用量統計: 欧州との比較

○本データは、診療、調剤時に発生する診療報酬明細書、調剤報酬明細書をもとに集計しています。医療費公費負担制度受給者のデータなどが含まれないことがあり、正確な使用量を示すものではありません。また、データソースが異なるため、販売量サーベイランス (<http://amrcrc.ncgm.go.jp/surveillance/020/20190902163931.html>) とは数値が異なります。

○欧州のデータについては、European Surveillance of Antimicrobial Consumption Network (ESAC-Net) に記載の情報を使用しています。 (<https://www.ecdc.europa.eu/en/about-us/partnerships-and-networks/disease-and-laboratory-networks/esac-net>)

○イギリスのデータについては、English surveillance programme for antimicrobial utilisation and resistance (ESPAUR) reportに記載の情報を使用しています。

(<https://www.gov.uk/government/publications/english-surveillance-programme-antimicrobial-utilisation-and-resistance-espaur-report>)

○表記されている数値は、人口と薬剤ごとのDefined Daily Dose (DDD) で調整した『標準化使用量』を表しており、これをDID (DDDs/1,000 inhabitants/day) と呼びます。(参考：https://www.whocc.no/atc_ddd_index/)。

DDDは2023年1月1日時点のものを使用しております。

○人口は、総務省統計局の人口推計 (<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/>) を利用しています。

○その他、抗菌薬集計に関する用語に関しましては、こちらをご参照ください。(http://amr.ncgm.go.jp/pdf/190903_glossary.pdf)

○注意事項 本データの抗菌薬種類はAntimicrobial consumption - Annual Epidemiological Report for 2018と同様に、WHOのATC3Levelによる分類としています。ATC分類の詳細については https://www.whocc.no/atc_ddd_index/ を参照してください

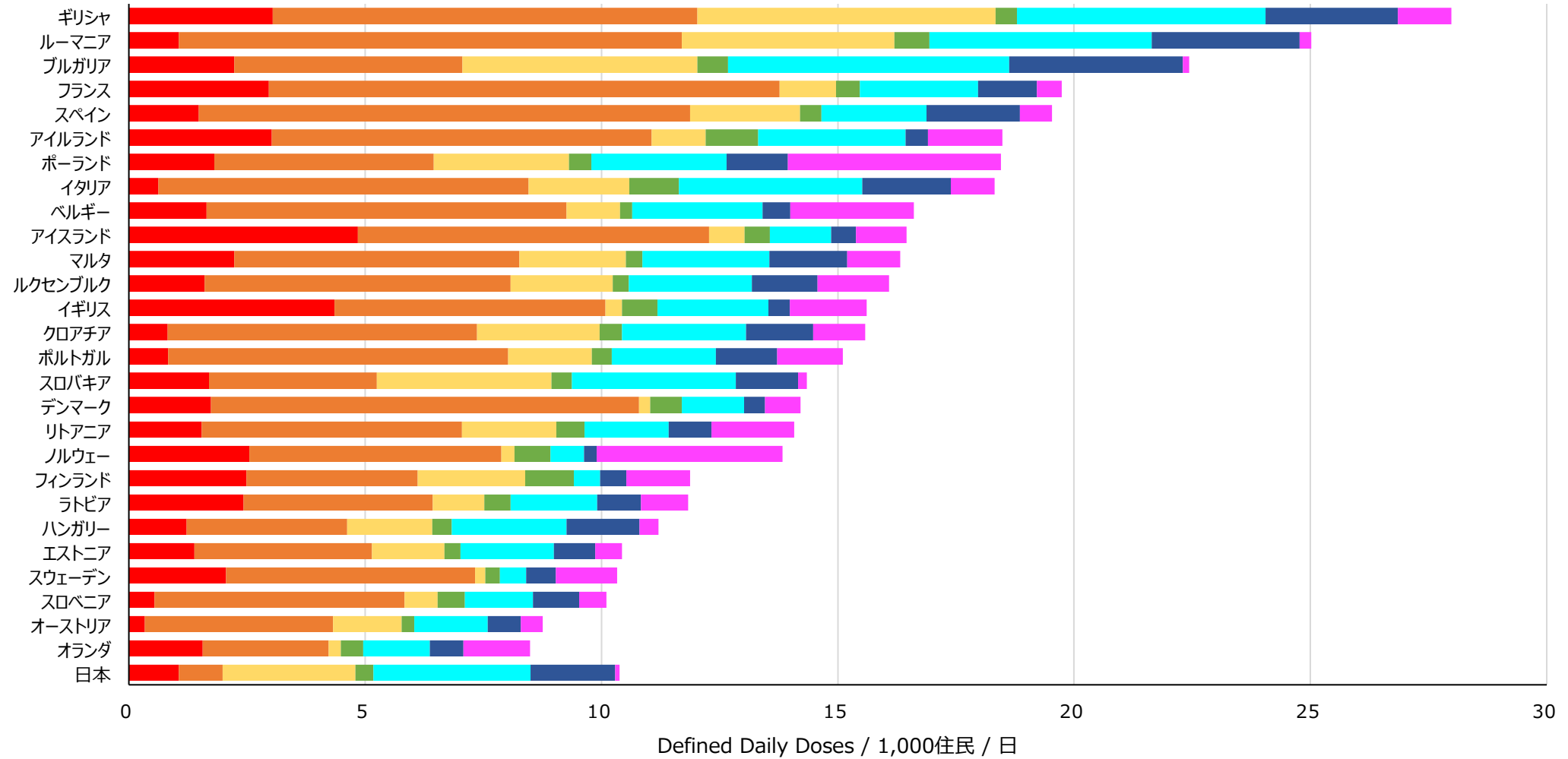
○2021年12月24日に公開した情報における欧州のデータについてはcommunity sectorのみを対象として誤って掲載していたため値が異なっています。

(※) 本データ解析は、以下の研究に基づき実施されたものである。

・令和3年度新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業（厚生労働科学研究費補助金）

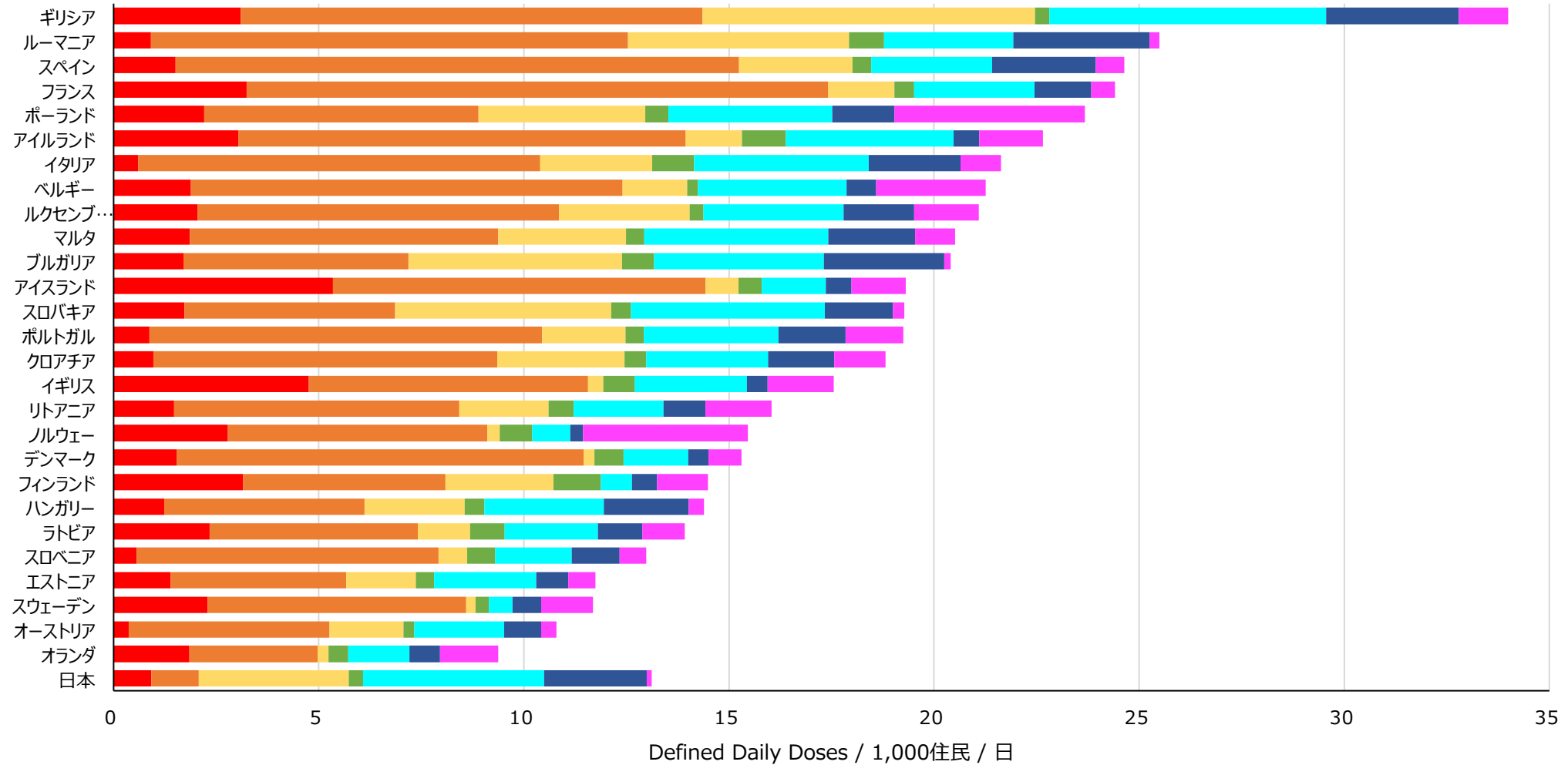
薬剤耐性（AMR）アクションプランの実行に関する研究（研究代表者：大曲貴夫）

欧州および日本における抗菌薬使用量の国際比較 (2020年)



- テトラサイクリン
- ペニシリン
- セファロスポリンおよび他のベータラクタム
- スルホンアミド・トリメトプリム
- マクロライド、リンコサミドおよびストレプトグラミン
- キノロン
- その他の抗菌薬

欧州および日本における抗菌薬使用量の国際比較 (2019年)



- テトラサイクリン
- ペニシリン
- セファロスポリンおよび他のベータラクタム
- スルホンアミド・トリメトプリム
- マクロライド、リンコサミドおよびストレプトグラミン
- キノロン
- その他の抗菌薬